

研究機関：広島大学

研究課題名	2012年のベトナム・ビントン州一般住民調査で得られた保存血清を用いたHAV抗体・HEV抗体保有状況把握等を目的とした疫学的研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学 教授 田中 純子
研究期間	2021年12月16日(倫理委員会承認後)～ 2023年3月31日
対象者	2012年2月から2012年12月の間に、E疫-507「ベトナム、ビントン州の一般集団におけるB型およびC型肝炎ウイルス感染の有病率に関する血清疫学的研究」に参加された方
意義・目的	経口肝炎ウイルスの疫学情報が十分に得られていないベトナムのビントン州の先行研究で得られた保存血清を用いて、抗HAV・HEV抗体またはウイルスゲノムを測定する事により、ベトナムにおける感染状況を把握する事を目的とします。
方法	<p>本研究は2012年にベトナム国ビントン州の成人に実施された血清疫学研究(E疫-507「ベトナム、ビントン州の一般集団におけるB型およびC型肝炎ウイルス感染の有病率に関する血清疫学的研究」)の保存血清及び属性情報、HBV・HCV関連の測定済データを対象とします。データはベトナムで匿名化され、個人情報を広島大学は保持していません。また、本研究は2012年の当該地域の住民を対象としており、9年経過した現在本人を特定することは不可能です。</p> <p>②保存血清及びデータを国立感染研究所に搬送します。</p> <p>③国立感染研究所にて以下の項目を測定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HAV-Total抗体 ・HEV-IgG抗体、HEV-IgM抗体 <p>④広島大学はHAV-Total抗体、HEV-IgG抗体、HEV-IgM抗体の測定データを受け取る。広島大学にてHAV抗体陽性検体、HEV抗体陽性検体を対象にNested PCR、Real-Time PCR、ウイルスゲノムSequence解析、系統樹解析を行います。</p>
共同研究機関	国立感染研究所 ウイルス第二部 第五室 室長 鈴木亮介
試料・情報の管理責任者	国立感染研究所 ウイルス第二部 第五室 室長 鈴木亮介
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel: 082-257-5162 広島大学大学院 医系科学研究科 疫学・疾病制御学 職名 教授 田中 純子